



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

平成29年度 公共ホール演劇ネットワーク事業 報告書

『とおのもののけやしき』

一般財団法人地域創造

助成事業

一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会

事業概要

目次	1
はじめに	3
実施要綱	4
事業の流れ	6
事業予算	7
公演概要	8
ツアースケジュール	9

実施データ

伊丹市	10
鳥取県	11
三重県	12
長崎市	13
いわき市	14
東松山市	15
ポスター	16
ちらし	17

一般財団法人地域創造では、地域における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりを目的として、地方公共団体等との密接な連携のもと、全国の地方公共団体や関連の公益法人などが実施する文化・芸術活動に対して財政的な支援を行うほか、財団の自主事業として、研修交流事業、公立文化施設活性化推進、調査研究等などの事業に取り組んでいます。

これらの事業の一環として「公共ホール演劇ネットワーク事業」を実施しています。これは、各地域において、上質な演劇公演と、演劇の手法を活用した地域交流プログラム（学校へのアウトリーチ、一般向けのワークショップ等）を実施することにより、観客の創出・育成や子どもたちのコミュニケーション能力・想像力・創造力の向上をサポートする事業です。

平成29年度は伊丹市立演劇ホール（兵庫県伊丹市）、鳥取県立倉吉未来中心（鳥取県倉吉市）、三重県文化会館（三重県津市）、長崎市チトセピアホール（長崎県長崎市）、いわき芸術文化交流館アリオス（福島県いわき市）、松山市民活動センター（埼玉県東松山市）の6地域で、『とおのもののけやしき』（作・演出：岩崎正裕）を上演し、地域交流プログラムを実施しました。

この作品は怖さとおかしさに満ちた「怪談話」を通して、かつてあった暮らしの歴史を子どもたちに伝える「こわくて、ふしぎな、夏のおしばい」です。

現在では使わなくなった古道具の数々と妖怪の出現に、子どもたちは想像力をふくらませ、登場人物とともに謎を解くことで物語を楽しみながら昔の暮らしを知ることができます。

大人はかつて過ごした自分の昭和時代を振り返りながら、子どもたちとともに舞台を味わうことができ、親子だけでなく、祖父母世代の方も一緒に楽しめる作品となりました。

地域交流プログラムは、それぞれの地域の特色や上演作品から着想を得たワークショップ、対談、バックステージツアーなどを実施しました。

この報告書は、「平成29年度公共ホール演劇ネットワーク事業」において実施した事業内容をまとめたものです。本事業の成果が活かされ、地域のホールが創造的な活動の場となり、ネットワークの形成が活発に行われるようになることを願っております。また、この報告書が地域の公立文化施設の職員や地方公共団体の芸術文化担当者の参考となり、微力ながら公共ホールの運営に役立てられれば幸いです。

結びに、貴重な財源を拠出していただきました一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会をはじめ、本事業の実施にあたりご協力を賜りました全ての関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。

平成30年3月
一般財団法人地域創造

1 趣旨

一般財団法人地域創造（以下「地域創造」という。）は、公共ホールの活性化、情報発信能力の向上を図るとともに、地域の演劇分野における創造的で文化的な芸術活動のための環境づくりに寄与し、あわせて公共ホールスタッフ等の企画・制作能力の向上と創造性豊かな地域づくりに資することを目的として、複数の地方公共団体等が演劇公演を共同・連携して実施することを支援する。

2 対象団体

演劇事業の実施に関心があり、今後も演劇事業に積極的に取り組む意欲を持っている下記の団体を対象とする。

- ①地方公共団体
- ②地方自治法第244条の2第3項の規定に基づき指定管理者として指定を受け、公の施設の管理を行う法人その他の団体
- ③地域における文化・芸術活動の振興に資することを目的として設立された公益財団法人等（②を除く。）のうち、地方公共団体が基本金その他これに準ずるものを出資している法人で地域創造が特に認めたもの

3 事業内容

当事業の各参加団体は、次の事業を実施する。

(1) 演劇公演

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他公演を実施するにあたり適当な施設を会場とし、演劇公演（再演作品）を実施する。

なお、公演は原則として有料とし、入場料収入は、開催地の主催団体に各々帰属するものとする。

(2) 地域交流プログラム

当該参加団体のある都道府県または市町村内の公立文化施設、その他地域交流プログラムを実施するにあたり適当な施設を会場とし、地域交流プログラムを実施する（地域交流プログラムは、ワークショップやアウトリーチをはじめ、企画展やシンポジウム、セミナー等も含む。）なお、申請は採択後とする。

4 地域創造の支援措置

(1) 公演事業等に対する助成

地域創造は、公演事業（ホール使用料、現地宣伝費、上演に係る著作権料、現地増員人件費などの現地経費は対象外とする。）及び地域交流プログラムにかかる費用の3分の2を助成する。

ただし、助成金は、1,200万円（原則、公演事業1,100万円、地域交流プログラム100万円）を上限とする。

5 事業実施体制の整備等

(1) 実施体制の整備

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、代表となる団体（以下、代表団体という。）を1団体決定するとともに、事業に最も適した組織づくりを行う。

なお、4（1）の地域創造からの助成金は、原則として参加団体（代表団体を含む。以下、同じ。）で構成される実行委員会またはネットワーク事務局に対して交付する。

また、事業にかかる経費のうち、地域創造からの助成金を除いた部分の負担の配分については、参加団体間の協議事項となる。

(2) 地域交流プログラムの企画書の提出

代表団体は、参加団体間で協議のうえ、地域交流プログラムの企画内容を記載した企画書等を提出する。

(3) 合意書の締結

参加団体は、参加団体間で協議のうえ、本事業実施のために必要な事項（(1)の実施体制に関するものも含む。）を定めた「合意書」を締結する。

(4) 代表団体の役割

代表団体は、(3)の合意書締結のとりまとめのほか、ネットワーク事業に必要な会議の開催や収支管理、事業報告及び決算報告を行うこと。

6 損害賠償の免責等

参加団体は不測の事態により事業を中止した場合等の損害の補填として損害保険等に加入すること。また、事業の実施に伴い発生した損害賠償等の責任について、地域創造は責めを負わないものとする。

7 公演クレジット

次のクレジットを基本とする。

主催：開催地の主催団体

公共ホール演劇ネットワーク事業参加団体：参加の地方公共団体

助成：一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会、
（一財）地域創造、公共ホール演劇ネットワーク事業

8 その他

この要綱に定めるもののほか、事業実施に必要な事項（地域創造が交付する助成金の申請様式など）については、別途定める。

事業の流れ

時期／区分	フ ロ ー 図
平成28年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">代表団体及び上演作品募集 ・3/25発行地域創造レター4月号にて周知 募集締切（5月13日）</div>
5月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">代表団体名及び作品名を地域創造のホームページ上で公開。 参加を希望する団体は、各代表団体に直接、連絡する。 代表団体は、参加を希望する団体をとりまとめて地域創造へ申請。 申請締切（6月24日）</div>
7月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">上演作品及び事業参加団体の決定</div>
12月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域交流プログラムの企画書等の提出</div>
平成29年 4月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">合意書の締結及び制作会議の開催</div>
5月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地域交流プログラムの実施（～9月）</div>
7月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">演劇公演の実施（～9月）</div>
10月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">決算報告会議の開催（10月19日）</div>
11月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ネットワーク事務局から実績報告書提出・助成金の確定交付</div>
平成30年 3月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">事業報告書作成・配布</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">一般社団法人全国モーターボート競走施行者協議会へ実績報告書提出</div>

事業予算

費 目	金 額	摘 要
文 芸 費	3,206,370	脚本料／演出料／演出助手料／作曲料／歌唱指導料／日本舞踊振付料／舞台監督料／舞台美術・照明・音響・衣装プラン料
出 演 料	1,386,000	出演料
舞 台 費	4,002,444	大道具・小道具費／衣装費／舞台監督助手料／照明・音響オペ費／照明機材費／メイク費／映像費／運搬費
公 演 費	3,294,696	交通費／宿泊費／日当
制作費等	1,520,084	チラシデザイン料／宣伝写真撮影料／ツアー制作人件費／制作雑費／公演保険料／租税公課
ネットワーク費	278,530	交通費／宿泊費／日当
地域交流プログラム経費	826,000	交通費／宿泊費／謝金／雑費
合 計	14,514,124	
参加館負担金（合計）	4,838,025	
伊丹市	865,783	（3ステージ）
鳥取県	747,116	（2ステージ）
三重県	747,116	（2ステージ）
長崎市	766,783	（2ステージ）
いわき市	806,114	（2ステージ）
東松山市	905,113	（3ステージ）
地域創造助成金	9,676,082	（対象経費の2 / 3、上限1200万円）
雑収入	17	利息

『とおのもののけやしき』 公演概要

【作・演出】

岩崎正裕

【出演】

三田村啓示（空の驛舎）、藤本陽子（DACTparty）、宮川サキ（sunday）

【スタッフ】

- ・ 舞台監督 河村都（CQ）
- ・ 舞台監督補佐 武吉浩二（Quantum Leap）
- ・ 照明 葛西健一
- ・ 照明助手 鎌江文子
- ・ 音響 大西博樹
- ・ 音響助手 あなみふみ
- ・ 舞台美術 西本卓也
- ・ 小道具製作 佐野泰広（CQ）
- ・ 演出助手 中西由宇佳（劇団 太陽族）
- ・ 衣裳 植田昇明（kasane）
- ・ 作曲 橋本剛
- ・ 写真・映像 井上大志
- ・ 宣伝美術 下東英夫
- ・ イラスト 長谷川義史

【あらすじ】

おばあちゃんが亡くなって、のこされた昔の道具たち。

夏休みのある夜、蔵のなかにとじこめられた小学生の兄と妹の前に"もののけ"がワンサカあらわれた。

次つぎと出される、知らない道具のなぞを解いて、二人の脱出作戦が始まる。

昭和生まれの大人と、平成の子どもたちをつなぐ、コワくてオモシロイお芝居。

もののけやしきへ、さあ、いらっしゃい！

ツアースケジュール

日程	会場	内容	スタッフ移動	キャスト移動	
5月 20日 土	鳥取県立倉吉未来中心	地域交流プログラム（倉吉）			
6月 17日 土	三重県文化会館	地域交流プログラム（三重）			
7月	2日 日	いわき市生涯学習プラザ	地域交流プログラム（いわき）		
	3日 月	いわき芸術文化交流館アリオス	地域交流プログラム（いわき）		
	8日 土	伊丹市立演劇ホール	地域交流プログラム（伊丹）		
	19日 水		仕込み	伊丹着	
	20日 木		仕込み・舞台稽古	伊丹着	
	21日 金		舞台稽古		
	22日 土	伊丹市立演劇ホール	①公演11：00 ②公演15：00		
	23日 日		③公演11：00・バックステージツアー	伊丹発	伊丹発
	28日 金		仕込み	倉吉着	
	29日 土		仕込み・舞台稽古		倉吉着
	30日 日	鳥取県立倉吉未来中心	①公演10：30 ②公演14：00	倉吉発	倉吉発
	8月	1日 火	東松山市総合会館	地域交流プログラム	
3日 木			仕込み	三重着	
4日 金			仕込み・舞台稽古	三重着	
5日 土		三重県文化会館	①公演14：00		
6日 日			②公演14：00	三重発	三重発
16日 水				長崎着	
17日 木			仕込み	長崎着	
18日 金			仕込み・舞台稽古		
19日 土		長崎市チトセピアホール	①公演14：00		
20日 日			②公演11：00・バックステージツアー	長崎発	長崎発
23日 水				いわき着	
24日 木			仕込み		
25日 金			仕込み・舞台稽古		いわき着
26日 土		いわき芸術文化交流館アリオス	①公演14：00・バックステージツアー		
27日 日			②公演11：00・バックステージツアー	いわき発	いわき発
30日 水				東松山着	
31日 木			仕込み		
9月	1日 金		仕込み・舞台稽古	東松山着	
	2日 土	松山市民活動センター	①公演11：00 ②公演15：00 バックステージツアー		
	3日 日		③公演14：00		
	4日 月			東松山発	東松山発
	24日 日	長崎ブリックホール	地域交流プログラム（長崎）		

■公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団



■伊丹市立演劇ホール（アイホール） イベントホール

[所在地]：兵庫県伊丹市伊丹2-4-1

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

7月22日（土）・11：00・122人

7月22日（土）・15：00・93人

7月23日（日）・11：00・140人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

7月8日（土）・10：00～12：00・親子7組14人

（公募による演劇ワークショップ）

7月23日（日）・11：00終演後・19人（バックステージツアー）

[入場料金]

おとな 2,500円、こども（3歳以上中学生以下） 1,000円、

おとな&こども ペア3,000円

■この事業への参加理由

当館では、平成20年度より児童や未就学児を対象とした現代演劇作品の上演を継続して実施している。本作は、当館ディレクター岩崎正裕の作・演出により平成27年度に創作。怖さとおかしさに満ちた「怪談話」を通して、かつてあった暮らしの歴史を子どもたちに伝える「こわくて、ふしぎな、夏のおしばい」として好評を博した。

本作は、当館初のレパートリー作品として創作したものであり、これまで築き上げてきた他地域の劇場との関係も活かしたネットワークの中で作品を流通させることを目指した。小劇場演劇の観客だけでなく、親子連れなどの新しい観客との出会いを期待する本作を全国で巡演することで、地方の市立劇場が精力的に地域の文化を発信していくモデルケースとなることを目標とし、本事業に参加した。

■この事業全体を振り返って

今回、6館巡演という大規模ツアーの代表館を務めたことは、非常に貴重な経験になったとともに、地域の公共ホールで作品創作をしていくうえでの大きな自信となった。また他館の事業や取り組み、その成果や課題を間近で見ることができ、自館での事業展開を考えるうえでも大きな示唆を受けた。

巡回公演をするなかで様々な問題も生じたが、出演者やスタッフ、また参加館の担当者をはじめ職員の方々が非常に意欲的に事業を推進してくださり、そのご尽力により大きな事故もなく無事に終えることができた。各地で、観劇されたお客様から直接お声をかけられることも多く、「また来てほしい」「来年も見たい」と仰っていただけたことは、当館が目指した「地方から発信する演劇」のモデルケースの一端となれた証左のように感じる。事業運営に対する反省点も多いが、それ以上に得るものの多い事業となった。

■今後の事業展開

今後も、地域発の演劇作品の創作及びレパートリー化を進め、上演回数を増やすことでさらに精力的に地域の文化を発信していくことを目指す。特に子どもを対象とした上質な演劇作品の上演を期待する声は年々増えていることから、本事業のような取り組みを積極的に続け、地域住民を中心とした新たな観客層の獲得に繋げていきたい。また今回、地域交流プログラムとして実施した「バックステージツアー」が非常に好評だったことから、このようなプログラムを連携させた事業を企画していくことで、より劇場への敷居を低くし、かつ作品や演劇に対する興味関心を高めることを目指していきたい。

■公益財団法人鳥取県文化振興財団



■鳥取県立倉吉未来中心 小ホール

[所在地]：鳥取県倉吉市駄経寺町212-5

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

7月30日（日）・10：30・143人

7月30日（日）・14：00・123人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

5月20日（土）・13：30～15：00・20人（対談）

[入場料金]

一般 2,500円、高校生以下 1,000円

■この事業への参加理由

当財団では鑑賞事業の中で演劇公演を取り上げるほか、演劇創造事業、高校生のための演劇ワークショップ事業など、様々な取り組みを行っている。

今回の公共ホール演劇ネットワーク事業への参加により、地域の方々へ演劇に身近に触れる機会を提供すること、鑑賞や体験に興味・関心を持ってもらいたいという思いがあった。

また、演劇鑑賞だけではなく、地域交流プログラム（プレ事業）も含んだ一つの演劇作品を地域の方々に提供することで、多角的に演劇の楽しさを伝えることができると考え、参加を決定した。

■この事業全体を振り返って

今回の事業を通じて、作品の素晴らしさや、家族の大切さを伝えることができ、演劇の楽しさや面白さ、演劇の持つ魅力を体感していただくことができた。

地域交流プログラムでは、本作品の演出家を招き、作品の見どころや制作までの経緯、思いなどを伺うことが出来、作品への理解、関心を深める良いきっかけとなった。

事業運営に関する反省点もあったが、作品をより多くの方へ知っていただける場を提供することができた。広報面では、様々な働きかけを行い、館内へ特設広報ブースを設けて昭和の道具を展示し、視覚的なところからも興味を持ってもらい、作品の良さを伝えることにつなげた。

また、チケット料金設定について、指定席としている施設は当財団だけであった。今後は、過去の実績に加え、他施設の実施状況も踏まえチケット料金・席種設定を検討する必要があると感じた。

■今後の事業展開

関西圏を代表する演劇ホールとネットワークを構築できたことはとても貴重な経験となった。

今後、演劇が鳥取県民にとってより身近な文化芸術となり、県内演劇の活性化、鑑賞者・実践者の拡大へとつながるよう取り組んで参りたいと考えている。

■公益財団法人三重県文化振興事業団



■三重県文化会館 小ホール

[所在地]：三重県津市一身田上津部田1234

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

8月5日（土）・14：00・183人

8月6日（日）・14：00・216人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

6月17日（土）・10：00～12：00・4組8人

（公募による演劇ワークショップ）

[入場料金]

公演：一般 1,000円、大学生以下 500円、中学生以下 300円

地域交流プログラム：1組1,000円

■この事業への参加理由

当館では、演劇人の育成、若手注目劇団をセレクトして紹介するMゲキセレクションなど、さまざまな角度から演劇の活性化を図っているが、未就学児が入場可能な公演の開催は不定期であり、数少ない。

今回の事業は、三重県出身で当館でも数々の上演・講師実績のある岩崎正裕氏が作・演出をつとめる親子向けの演劇作品であったため、良質な演劇作品を未就学児を含む子どもから大人までご覧いただく機会ができ、上演意義を感じた。また、他館と連携することで通常よりも安価に開催することが可能であり、地域創造や全国各地の劇場とのノウハウの共有・今後の繋がりを作ることができるため、参加にいたった。

■この事業全体を振り返って

地域交流プログラムでは、親子向けのプログラムを実施。親子同士のコミュニケーションや、身振りを使わない言葉での伝達、人前での発表を体験してもらった。初めて会った人たちともワークショップを通じて交流を深めることができ、楽しく参加していただいたようだ。

公演チケットは発売開始から約1か月で完売となる人気で、当日券は増席や立ち見エリアの開放によって受け付けた。結果、2ステージとも当日券で30名以上に入場いただき、会場は超満員となった。夏休みの期間中で、2日目に劇場で子ども向けの全館イベントを開催していたことや、安価な価格設定が功を奏したと思われる。

内容に関しても、初めて劇場で演劇を観る子どもには怖いと感じる場面や難しいシーンもありつつ、大人も涙するような作品で、親子ともに楽しんでいただくことができ、満足度は高かった。

今回初めて当館のホールで観劇したという親も一定数おり、これを機に親子それぞれが劇場に足を運ぶ機会が増えると嬉しく思う。

■今後の事業展開

劇場の固定客を増やしていき、今後も観劇初心者の方から演劇ファンまで楽しめる質の高い演劇作品を上演していきたい。そのために、まだ劇場にお越しいただいたことがない方や、初めての劇団を招聘した際にも劇場へ足を運ぶきっかけとなるような魅力的な地域交流プログラムを提供していければと思う。今後の演劇の担い手の育成事業等にも積極的に取り組んでいく。

また、今回の参加を通じて繋がりを持つことができた劇場間のネットワークを今後も持続的に活用していきたいと感じた。

■長崎市



■長崎市チトセピアホール

[所在地]：長崎県長崎市千歳町5-1チトセピアビル2F

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

8月19日（土）・14：00・106人

8月20日（日）・11：00・114人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

8月20日（日）・11：00終演後・18人（バックステージツアー）

9月24日（日）・10：00～12：00・19人（公募による演劇ワークショップ）

[入場料金]

一般 2,000円、高校生以下 1,000円、親子ペア 2,500円

■この事業への参加理由

長崎市ではこれまで、市民参加舞台、戯曲講座、リーディング公演を軸に事業を展開しながら市民が舞台制作に参加する機会を創出してきたが、取り組みを重ねる中で、参加者が固定化してしまう傾向が見られ、今後どのように裾野を広げていくかが課題になっていた。そこで、方策の1つとして子どもを対象にした演劇プログラムに着目し、平成28年度から子ども演劇体験教室を実施している。このような中、今回の作品が子ども向けに作られており、怪談話、謎解きと非常にわかりやすい内容であることに注目し、子ども演劇体験教室とのタイアップができないかと考えた。さらに、「家族で楽しめる」演目であることから、子どもたちが親や祖父母世代とまで一緒に楽しめ、気軽に鑑賞できる。これをきっかけに初めて演劇を観た方が、舞台芸術に興味を持つことで新たな創客に繋がることが期待できると思い、本事業に参加した。

■この事業全体を振り返って

会場となっているチトセピアホールは、長崎市の拠点施設として使用している長崎ブリックホールと離れているため、ホール自体の使い勝手を熟知していない分、舞台監督をはじめ制作館にも手間と負担をかけてしまったと感じている。公演を楽しみにしているお客さんのために、舞台機構の使い方や客席の組み方など細やかな工夫や配慮をいただき、とても感謝しているし、勉強になった。

また、本事業に参加することで他館とのネットワークが構築できたこと、参加館の他の事業の情報や、それぞれが蓄積してきた独自の優れたノウハウを共有でき、スキルアップにも繋がったことは大きな収穫であった。

さらに、「家族で楽しめる演劇作品」を長崎市で上演できたことにより、「子どもと一緒に」というきっかけで初めて観劇にきたという方が多く見られ、新たな客層の開拓に繋がったと感じている。

■今後の事業展開

長崎市では、長崎ブリックホールが開館した平成10年を皮切りに定期的に「市民参加舞台」を行っている。これまでに多くの成果が得られた一方で、参加者の固定化が見られる状況を踏まえ、平成30年度の開館20周年を一つの節目として、これまでの参加者に加え、初心者でも気軽に舞台の魅力に触れられる工夫を加えた事業を展開していきたい。また、子どもを対象にした演劇プログラムも継続して実施し、演劇を通して、「他者を理解し、自分の存在を肯定する」ことを多くの子どもたちに経験してもらおうとともに、コミュニケーション力の向上や舞台芸術への興味・関心を引き出し、将来のまちづくりを担う子どもたちを、芸術文化を通して育てていきたいと考えている。その中で、「とおのものけやしき」を観た特に子どもたちについては、公演を通じて生まれた演劇への関心を他の事業とうまく連携させながら育み、市民参加舞台などに繋げることで、観る喜びから出演する喜びを提供する流れを作りたい。

■いわき市



■いわき芸術文化交流館アリオス 小劇場
[所在地]：福島県いわき市平字三崎1番地の6

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

8月26日（土）・14：00・140人

8月27日（日）・11：00・148人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

7月2日（日）・14：00～15：30・17人（小・中学生へのワークショップ）

7月3日（月）・10：30～11：10・17人（未就学児へのワークショップ）

8月26日（土）・終演後・20人（バックステージツアー）

8月27日（日）・終演後・12人（バックステージツアー）

[入場料金]

一般 1,500円、高校生以下 1,000円、小学生 500円、

未就学児 無料

■この事業への参加理由

いわき芸術文化交流館アリオスでは、平成25年度より「こどもの劇場」と称して、いわき市の子どもたちに質の高い演劇作品を鑑賞・体験する機会を提供している。その背景には平成23年の東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、本市では子どもたちの屋外での遊びが、物理的・精神的に制限されてしまったことがある。文化芸術を通じて当館を新たな“遊び場”として提供するため、様々な取り組みをしている。演劇においては、単なる鑑賞事業ではなく、本作のように舞台と客席が一体となって、物語を体験できる作品を選んできた。また、本作は昔の道具を主役とすることにより、子どもとその親だけでなく、祖父母世代にも興味をもってもらえることができるため、親子三代で楽しめることも魅力的であった。さらに、関西の作品を招聘することで、首都圏だけでなく、様々な地域で育まれた演劇に触れる機会を提供できると考え、参加をした。

■この事業全体を振り返って

公演の1か月以上前に、ほぼチケットが完売となった。市内小学校の協力を得て、チラシを全児童配布できたことが大きな要因であると考えられるが、予想外の反響であった。本公演は舞台美術の特性上、販売することのできない座席が多かったため、その辺りの事情を考慮して、公演数を増やすなどの対策を事前に練るべきであった。アンケートには「今回のような演劇をまた観たい」という声も多く、好評であったが故に、もっと多くの子どもたちに観てもらいたかった。

一方で小・中学生を対象とした演劇WSの集客には苦勞をした。内容や面白さを十分に伝えることができなかったためだと考えられる。また、未就学児が対象のWSは、演出の岩崎正裕氏にとって初めての取り組みであり、大きな負担を強いることになってしまった。どちらも目的を明確にし、きちんと市民や参加者に伝えられる準備を、事前にもっとしておくべきだったと反省している。

■今後の事業展開

今後も、「こどもの劇場」として子どもと一緒に家族で楽しめる演劇作品を、継続して提供していく。その上で、どのような作品が相応しいかを考えるために、今回のような他館との連携も積極的に行っていきたい。また、来年で30周年になる市民の鑑賞団体「いわきおやこ劇場」など、市民団体とも連携を図ることで、「こどもの劇場」というシリーズが当館だけのものではなく、市民の協力を得ながら、子どもたちが継続的に楽しめる事業として定着させたいと考えている。

本公演における他館での取り組みなども参考にし、今後も鑑賞だけでなく多彩な事業を実践し、子どもの頃から演劇に触れることが当たり前となる地域づくりに取り組んでいきたい。そうすることで、文化芸術を身近に感じてもらい、市民生活に潤いを与え、本市での暮らしがより豊かになっていくことを目指す。

■公益財団法人東松山文化まちづくり公社



■松山市民活動センターホール

[所在地]：埼玉県東松山市松本町1-9-35

[公演（公演日・開演時間・入場者数）]

9月2日（土）・11：00・186人

9月2日（土）・15：00・150人

9月3日（日）・14：00・207人

[地域交流プログラム（実施日・時間・参加人数）]

8月1日（火）・10：00～17：00・15人（高校生のためのワークショップ）

9月2日（土）・15：00終演後・23人（バックステージツアー）

[入場料金]

おとな 2,000円、こども 1,000円、おとな&こどもペア 2,500円

■この事業への参加理由

東松山文化まちづくり公社は、参加・創造型事業として市民の創造発表の機会を提供し、市民文化の活性化を図り、市民と市民がつながる、市民とアーティストがつながる事業を展開している。

今回の企画に参加させていただいた理由は、人と人のつながりに特化した「演劇」を、市民が鑑賞できる機会を増やし、また今後展開していく市民参加劇を見据えた事業の運営面に関して、学んでいきたいという考えであった。

また、地域交流プログラムとして、高校演劇部を対象としたワークショップを行うことで、観覧者だけでなく、演ずる側とのかかわりを深め、今後の演劇事業への発展性を求めた。

■この事業全体を振り返って

地域交流プログラムは、8月1日、東松山市総合会館1階多目的室にて「地域交流プログラム 高校生のための演劇ワークショップ」が行われた。「演劇によるワークショップ」が、単に新たな演技技術を得ることではなく、人と人の関係性の構築や、まだ知らなかった自分を知ることができるものだと改めて知る機会となった。

公演は、2日間3回公演に550名近くのお客様をお迎えし、ほとんどが演劇を観ることが初めてという方々に、笑いと恐怖と感動を与えることができた。

今回の公演を通じて、市民への「演劇の種まき」ができたと感じる。来年度より市民参加の演劇事業に取り掛かるにあたり、地域の演劇への需要、参加者の拡充、そして制作側の成長の機会を得ることができた。

■今後の事業展開

今後は、来年度からスタートする市民参加の演劇事業へ向けて、演劇によるワークショップを軸に、市民が自ら参加でき、市民が誇りを持てる作品作りに取り掛かりたい。

同じ県内にある、市民参加劇の代表である「さいたまゴールド・シアター」を有する、彩の国さいたま芸術劇場の協力を経て、運営面や、企画面を充実させ、子どもから大人までが「共に作り上げる舞台」、美術団体や音楽団体など演劇の枠を超えた「人と人が繋がる舞台」を目指していく。

また、今回の公演で繋がることのできた、伊丹をはじめとする参加館の制作者の皆様とも、今後も情報交換を積極的に行い、ホールの枠を超えた共同での事業を展開していければと考えている。



2017年
7月22日(土)・23日(日)
会場
アイホール
伊丹市立演劇ホール

作・演出 岩崎正裕
出演 三田村啓示(空の舞台)
藤本陽子(DACTParty)
宮川サキ(sunday)
(出演者名は順不同)

AI-HALL
「みんなの劇場」
こどもプログラム

平成29年度公共ホール演劇ネットワーク事業

とおのもののけやしき

作・演出: 岩崎正裕
出演
 三田村啓示(空の舞台)
 藤本陽子(DACTParty)
 宮川サキ(sunday)

脚本: 三田村啓示
 演出: 岩崎正裕
 音楽: 大野雅也 岸本美津(四季音楽)
 衣装: 辻野真由美
 美術: 藤原麻由(楽屋)
 実行委員: 下東美生
 イラスト: 藤原真由美

おばあちゃんが亡くなって、のこされた昔の道具たち。夏休みのある夜、蔵のなかにとじこめられた小学生の兄と妹の前に“もののけ”がワンスカあらわれた。次々と出される、知らない道具のなぞを解いて、二人の脱出作戦が始まる。昭和生まれの大人と、平成の子どもたちをつなぐ、ゴワくてオモシロイお芝居。もののけやしきへ、さあ、いらっしやい!



日時
 2017年7月22日(土)11:00/15:00
 23日(日)11:00*

*受付開始は開演の20分前、開演は開演の30分前です。※上演時間は約70分です。お演劇の都合により、開演後の途中入場を制限させていただきます。※小さな子どもにはちょと怖いシーンがあります。

(個別企画)バックステージツアー
 本のおいでいも舞台は、公演が終わったあとに「バックステージツアー」を開催します。お芝居の裏側を見学し、お道具の道具箱を舞台に近づいて見て頂くことができます。お芝居で使っているビビリンの衣装も体験できちゃったり、衣装の色合わせ、髪子削、大人と子どもがペアになってグループで歌ったり、衣装着用の決定。

予約方法:アイホール窓口もしくはお電話でお申し込みください。
 ※公演をキャンセルされる方はお電話ください。

会場・お問合せ
アイホール 伊丹市立演劇ホール
 T064-6886 企画課(伊丹市)045-41
 TEL:072-782-2000 FAX:072-782-8880 (大ホール)
 http://www.aihall.com info@aihall.com better@aihall.com

料金(4歳以上、幼児料半額(自由席))
 おとな=2,500円
 こども(4歳以上)おとな以下=1,000円
 おとな子どもペア=3,000円
 ※バックセットはアイホール(窓口/電話予約のみ)
 ※観覧席のお子様は保護者1名につき1名まで観覧席無料。

チケット発売日 5月20日(土)10:00~

チケット取扱い
 ●アイホール(窓口/電話予約) TEL:072-782-2000(9:00~22:00/大ホール休)
 ●オンラインチケット予約 <http://www.aihall.com/ticket>
 ●カンフェティチケットセンター TEL:0120-240-540(平日10:00~18:00)
 ※ご予約前に、観劇ポータルサイト「カンフェティ」への会員登録(無料)が必要となります。
 ※オンラインプレンドでのチケット発券となります。
 ※別途、別途手数料が必要です。

ツアー予定
 7月30日(日) 鳥取県立文化芸術センター(鳥取)
 8月1日(土)~8日(日) 三重県立文化芸術センター(三重)
 8月19日(土)~20日(日) 鳥取県立文化芸術センター(鳥取)
 8月20日(土)~27日(日) 伊丹市立演劇ホール(伊丹市)
 8月28日(土)~9日(日) 和歌山県立文化芸術センター(和歌山)

公共ホール演劇ネットワーク事業は、地方自治体が設置する
 モーターポート建設の収益金を活用して実施しています。



※お申し込みの際は、お電話でお申し込みください。

平成 29 年度公共ホール演劇ネットワーク事業報告書

編集・発行／一般財団法人地域創造

発行日／平成 30 年 3 月